

## 平成19年度国立大学法人東京海洋大学臨時教育研究評議会議事要録

日 時 平成19年12月27日(木) 10時30分～11時55分

場 所 楽水会館2階特別会議室(品川地区)

出席者 高井学長、岡本理事、刑部理事、今津理事、松山海洋科学部長、藤田海洋工学部長、竹内海洋科学技術研究科長、松下附属図書館長、上村評議員、渡邊評議員、鶴田評議員

陪席：松岡事務局長

事務担当者：中川総務部長、花田学務部長ほか事務関係者

### 議 事

#### 報告事項

#### 1 平成20年度予算(19年度補正予算等を含む)の内示について

事務局から、資料1「平成20年度国立大学法人予算の内示概要等」により、平成20年度の本学運営費交付金内示額及び平成19年度補正予算等の内容を中心に説明があった。続いて、国公私大学を通じた大学教育改革の支援の充実等(質の高い大学教育推進プログラム、戦略的大学連携支援事業)、国立大学の学部の定員超過を抑制する仕組みについて説明があり、定員超過率算定の留意点(留年者)について意見交換を行った。

#### 2 その他

学長から、先般の懲戒解雇について説明があり、再発防止に向けて真摯に対応していかなければならない旨発言があった。このことについて、上村委員より、過剰な勤務、職員就業規則の整備、教員の指導等の責任範囲について質問があり、学長から、(過剰な勤務)全体に目配りしながら分散化できるところはしていきたい。(規則の整備)年度が変わってから整備していきたい。(教員の指導等の責任範囲)今後どのようなことをして再発防止に先進していくのかと同時に活性化した大学していくことによりに決まってくるのではないかと回答がなされた。

鶴田委員より、次期中期計画に向けての戦略の決定について質問があり、学長から、1月の将来計画委員会において議論する旨回答がなされた。

以 上